

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会	団体ウェブサイトURL	https://kansai-nikikai.com/
代表者職・氏名	理事長 米田哲二		
制作団体所在地	〒 540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-3-11-601	最寄り駅(バス停)	大阪メロ 谷町四丁目駅
電話番号	06-6360-4649		
ふりがな 公演団体名	こうえきしゃだんほうじんかんさいにきかい 公益社団法人関西二期会	団体ウェブサイトURL	https://kansai-nikikai.com/
代表者職・氏名	理事長 米田哲二		
公演団体所在地	〒 540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-3-11-601	最寄り駅(バス停)	大阪メロ 谷町四丁目駅
制作団体 設立年月	1964年		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:米田哲二 副理事長:齊藤言子・小餅谷哲男・片桐直樹/理事:大谷圭介・片桐仁美 他13名 監事:薩摩和男	正会員:286名/準会員:199名 賛助会員:53名/会友:19名 合計557名 入会試験と活動実績により入会が認められる	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	伊藤歌枝子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	羽瀨祐子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@kansai-nikikai.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1964年に二期会設立の主旨とその活動に共感を得た京阪神に在住する声楽家達により「二期会関西支部」として発足し1979年に「関西二期会」と名称を改める。 2010年に法人格を取得し「一般社団法人関西二期会」となり、さらに2011年12月26日付けで「公益社団法人関西二期会」となった。 『フィガロの結婚』など、オペラの演目としてよく知られた作品の上演はもとより、『アルバート・ヘリング』（関西初演）『真夏の夜の夢』（関西初演）『るつぼ』（日本初演）等意欲的な作品を公演し、大阪文化祭賞3回、大阪府民劇場奨励賞3回、音楽クリティッククラブ賞4回、尼崎市民芸術奨励賞、トヨタ音楽賞、三菱信託音楽賞等を受賞。平成26年9月、第79回オペラ公演『魔笛』では第12回佐川吉男音楽賞を受賞している。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成26年度 平成27年10月 平成27年度 平成28年度 平成29年6月 平成29年度 平成29年10月 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年9月</p>	<p>学校公演19公演（文化芸術による子供の育成事業） 大阪府立大手前高校学校公演 学校公演18公演（文化芸術による子供の育成事業） 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 上宮太子中学・高等学校（音楽鑑賞会） 学校公演16公演（文化芸術による子供の育成事業） 西宮市立瓦木中学校（音楽鑑賞会） 学校公演15公演（文化芸術による子供の育成事業） 学校公演8公演（文化芸術による子供育成総合事業） 学校公演6公演（文化芸術による子供育成総合事業） 学校公演1公演（文化芸術による子供育成推進事業） 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業） 学校公演9公演（文化芸術による子供育成推進事業） 大阪清風学園中学校公演（音楽鑑賞会）</p>	
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>平成14年2月 平成19年11月 平成20年10月 平成21年10月 平成23年10月 平成27年10月 平成28年11月 平成30年10月 令和元年7月 令和2年9月 令和3年2月 令和6年9月</p>	<p>滋賀県立八幡養護学校（芸術文化ふれあい教室） 富山県高岡市立こまどり養護学校（本物の舞台芸術体験事業） 門司市立特別支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 大阪府立視覚支援学校（本物の舞台芸術体験事業） 兵庫県立芦屋特別支援学校（次代を担う子どもの文化芸術体験事業） 長崎県立鶴南特別支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 富山県立しらとり支援学校（文化芸術による子供の育成事業） 北海道紋別養護学校（文化芸術による子供の育成事業） 沖縄県立森川特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 長崎県立川棚特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 大阪府立泉南支援学校（文化芸術による子供育成総合事業） 三重県立稲葉特別支援学校（文化芸術による子供育成総合事業）</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/sJE8cZsoSXw <u>（リンクのみの限定公開）</u></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益社団法人関西二期会】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	関西二期会合唱公演			
-----	-----------	--	--	--

企画のねらい	<p>「演奏を目の前で聴くこと」や「実際に自分で歌ってみる」体験を通じて、歌唱における表現力を養い自己肯定感を高めるのが最大のねらいです。</p> <p>ワークショップでは、普段はソリスト(独唱者)として活躍する歌手が“体育館”という身近な場所で歌を歌うことで、体育館に響き渡る「人の声」を体感していただけます。そして、どのような練習をして声の“響”を出しているかを紹介したり、歌唱指導の体験を通して、児童・生徒の皆さんには「オペラ歌手」を身近に感じて、「歌声を育む」のは難しいことではなく、簡単な訓練の積み重ねでだれでも可能になる」というのを知っていただきたいと思っております。また、本公演で共演する曲の指導を実際に受けていただくことで、児童・生徒の参加意識を高めるとともに、今後の音楽活動にいかせるように工夫しております。</p> <p>本公演では、普段は関西圏を中心にソリストとして活躍する24名の歌手による合唱演奏で圧倒的な迫力の歌声や息遣い、繊細なハーモニーを体験していただけます。またプログラムの後半では児童・生徒にとって身近な校歌を混声四部合唱編曲版で聞いていただくことで、親しんでいる楽曲が編曲により全く異なる印象になることを体験し、歌への興味を育みます。また、ワークショップで取り組んだ共演曲や校歌と一緒に歌うことにより、他者とともに物事に取り組む一体感や達成感を体験していただきたいと思っています。</p>			
--------	---	--	--	--

演目概要・演目選択理由	<p>【演目概要】</p> <p>「関西二期会合唱団」は関西を中心にソリストとして活躍する24名の歌手から結成され、オーケストラの定期公演や放送局主催の公演にも出演しています。</p> <p>オープニングはイタリア民謡の「フニクリ・フニクラ」。</p> <p>次に日本の四季を感じていただくために各季節を代表する曲をメドレーで、春は瀧廉太郎作曲「花」、夏は「我は海の子」、秋は「村祭り」、冬は「雪」。終曲は「ふるさと」と続けて演奏します。</p> <p>次に「トランペット吹きの休日」を歌詞のないスキヤットで、また、ア・カペラ男声合唱の「斎太郎節」、女声合唱「ずいずいずっころばし」をお届けします。</p> <p>そして、子どもたちを元気づける曲として「勇気100%」、いきものがかり「Yell」、生きる事の素晴らしさを感じてもらえる竹内まりあの「いのちの歌」、天使にラブソングより「Joyful joyful」を歌います。</p> <p>休憩を挟んだのち関西二期会の主たる活動であり、総合芸術と言われるオペラの中から、子どもたちにオペラへの興味を持ってもらいたいという思いから、ストーリー性があり楽しさを演出できるモーツァルト作曲のオペラ『魔笛』より「パパパの二重唱」を2名の歌手で披露し、続いて有名なオペラ『カルメン』から第四幕の華やかな合唱のシーン「ハバネラ」「闘牛士の歌」、最後はオペラ『椿姫』より「乾杯の歌」で締めくくります。</p> <p>公演プログラムの終盤には、各学校で開催するワークショップで取り組んでいただいた楽曲と校歌と一緒に歌う事により、他者と共に一つの物事に取り組み達成する力、その喜びを共有する高いコミュニケーション力、その素晴らしさを感じる事のできる深い情操を養うことができるプログラムとなっています。</p> <p>【演目選択理由】</p> <p>●「フニクリ・フニクラ」</p> <p>「鬼のパンツ」の替え歌として親しまれ有名であることに加えて、リズムカルで華やかな曲想が児童・生徒にとってコンサートの期待感を高める効果を持つと考え採用しています。</p> <p>●「四季を彩る日本の歌」</p> <p>唱歌は日本の文化財産として後世に受け継ぎたいものの一つであると認識していますが、一方で時代は進み、作曲された当時とは楽曲スタイルが大きく変化したことから、現代の子どもたちに曲の魅力を十分に伝える以下の手法での披露を考えています。</p> <p>①パート割り振りにより声の変化を持たせること②サンバヴァージョンへのアレンジ③巧みにソロを交え変化を持たせること④自然の情景を声で表現するなどの演出を加え、日本の素晴らしい四季を感じられる様なメドレーにしています。</p> <p>●「トランペット吹きの休日」</p> <p>声を楽器として扱うスキヤットは、歌詞を伴わず楽曲の全てを表現する声の可能性を感じることができ、高い歌唱技術が必要で単純に歌う事の「凄さ」を感じられます。</p> <p>●「斎太郎節」「ずいずいずっころばし」</p> <p>いずれも民謡童謡で、子供たちの感性に直接訴えかけられる楽曲であると同時に、ピアノ伴奏のない声だけの魅力を感じられます。「斎太郎節」は男声のみ、「ずいずいずっころばし」は女声のみのそれぞれ単声の澄んだハーモニーを堪能してもらいたいと考えています。</p> <p>●「勇気100%」・いきものがかり「Yell」・竹内まりあ「いのちの歌」</p> <p>合唱ならではの重厚さ・力強さを通じ、曲が持つメッセージを感じ、命の大切さや生きる勇気など「命」「絆」「愛」という普遍的なテーマと一緒に考える機会を持つことで、豊かな人間性を育てていただきたいと考えています。</p> <p>●天使にラブソングより「Joyful joyful」</p> <p>プログラム第一部の最後に手拍子などの参加型で盛り上がりたいたいと考えています。</p> <p>●「オペラってなあに？」</p> <p>第二部からは時代を超え世界中で愛される名曲に演出を施し、本物のオペラに近い舞台を楽しんでいただけるようにしています。</p> <p>●各校共演曲</p> <p>共演曲の模範演奏を通して、子どもたちに演奏歌手と自身の歌声の違いを感じてもらい、発声や姿勢などによって、より良い歌い方を考えるきっかけにします。</p> <p>●混声四部合唱版「校歌」</p> <p>プログラムの最後は毎年大好評をいただいている各校の校歌を演奏します。子どもたちにとって日頃は単旋律で歌っている校歌が、編曲されてハーモニーを伴い美しくダイナミックに生まれ変わる驚きを感じていただきます。</p> <p>●全ての山に登れ</p> <p>今回の本公演を通じ「関西二期会合唱団」が児童・生徒の皆さんの今後の挑戦も応援する気持ちを表現したいと思っております。</p>			
-------------	--	--	--	--

児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>体育館の舞台下、もしくはフロア上にひな段を組んでいただき、できるだけ児童・生徒に臨場感のある近い距離で演奏します。</p> <p>歌手が演技をしながら児童・生徒の中に入って歌い参加者全員を巻き込んだのサプライズ共演を行ったり、歌の共演をしたりすることで、会場全体での交流を図ります。ひとりで歌うだけでは味わうことができない、一緒に音楽を創り上げているという意識、大勢で声を重ねた時に生まれる一体感や感動、達成感を感じていただきます。</p>			
-----------------	---	--	--	--

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	全校児童・生徒対象			
		鑑賞人数目安	全校児童・生徒対象			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【第一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープニング イタリア民謡「フニクリ・フニクラ」 ●四季を彩る日本の歌 花〜われは海の子(サンバVer.)〜村祭り〜雪〜ふるさと ●声が大変身! アンダーソン作曲「トランペット吹きの休日」 ●声を聴き比べてみよう 男声合唱「斎太郎節」宮城県民謡 女声合唱「ずいずいずっころばし」童謡・信長貴富編曲 ●みんなががんばれ! <p>【小学校】勇気100%【中学校】いきものがかり「Yell」 / 【小・中共通】いのちの歌 竹内まりあ・Joyful joyful(天使にラブソングを)</p> <p>《休憩 10分》</p> <p>【第二部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●楽しい二重唱 オペラ『魔笛』よりパパパの二重唱 ●オペラってなあに? カルメン第四幕より 群衆の場面 / カルメンより「ハバネラ」(作曲:G.ビゼー) / カルメンより「闘牛士の歌」 / 椿姫より「乾杯の歌」(作曲:ヴェルディ) ●みんなで歌いましょうワークショップの成果発表:共演曲の演奏 (児童・生徒たちの演奏→関西二期会だけの演奏→共演) ●校歌 全員で校歌斉唱〜関西二期会編曲版 混声四部合唱で〜指揮者ワンポイントアドバイス ●アンコール 全ての山に登れ <p style="text-align: right;">公演時間 110 分</p>					
	出演者	<p>指揮:鈴木恵里奈 ピアノ:今岡淑子 《合唱団》 ソプラノ:岩本実奈子、武久優子、四方典子、三村浩美、佐竹しのぶ、松浦優 アルト:永富真紀子、岸畑真由子、瀬戸口文乃、安本佳苗、名島嘉津栄、影原真由美 テノール:井上洋史、山中雅博、島袋羊太、中島康博、大上晃史、諏訪部匡司 バリトン:大谷圭介、萩原寛明、神田行雄、山崎享、服部英生、武久竜也 (以上予定の為、同等の音楽家と変更することがあります。)</p>				
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>鈴木恵里奈(指揮):日生劇場、新国立劇場などで音楽スタッフを務め、2019年藤原歌劇団《蝶々夫人》で本格的にオペラ指揮者としてデビュー。以後、新国立劇場オペラ研修所《イオランタ》、藤原歌劇団《ラ・ボエーム》ほか、この2年間で5作品7プロダクションと続けざまにオペラの指揮台に立ち、着実にキャリアを積み重ねる。令和5年度浜松市教育文化奨励賞受賞。</p> <p>大谷圭介(総合プロデューサー):関西二期会プロダクションを中心に数々のオペラに主演。受賞多数。特に、2022年シーズンでは『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『リゴレット』と立て続けにタイトルロールの公演を成功させたことは記憶に新しい。2017年12月、2018年1月、2月に、イタリアのリヴォルノ、ピサ、ルッカの各歌劇場にてマスカリーニ作曲オペラ『イリス』に出演。的確なディクションと演唱で常に観客を魅了している。</p> <p>名島嘉津栄(コンサートミストレス):国内外で多くの演奏会に出演し「第九」等のアルトソロ、「カルメン」カルメン・メルセデス、「蝶々夫人」スズキ、「フィガロの結婚」マルチェリーナ、「ヘンゼルとグレーテル」魔女・母、などメゾの幅広いキャラクターを演唱し、安定した幅広い表現の歌唱と的確な演技は指揮者・演出家からの信頼も厚く、常に好評を得ている。関西二期会、こうべ芸文、神戸音楽家協会各会員。</p>					
本公演 従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 26 名 スタッフ: 2 名 合 計: 28 名	運搬	積載量: t 車 長: m 台 数: 台			
本公演 会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	10:20	10:30~12:00	13:30	10分	15:20~16:00	16時00分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。但し、低学年の帰宅時間の兼ね合いで学校と相談の上、午前に行うことが						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月		
	21日	22日	20日	19日		
	10月	11月	12月	1月		
	22日	9日	23日	20日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	156日	

※令和5年度の公演イメージ。



※令和4年度の公演イメージ（感染症対策のためマスクで歌唱しております）。



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当あり	該当コンテンツ名	楽曲
	該当事項がある場合	権利者名	JASRAC	許諾確認状況	採択後手続き予定

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップの最大のねらいは、合唱演奏における「発声のポイント」「演奏のポイント」を学び・考え・体得することを通じて、歌う事や合唱で声を合わせる楽しさや喜びを感じてもらい、その結果、合唱本公演への興味・関心を高めることです。</p> <p>現役で活動する音楽家から声を出す方法や、本公演での共演曲の歌唱方法を学ぶことで、児童・生徒の参加意識を高め、今後の音楽活動へ生かせるよう工夫しております。また、歌うことを考えることで、本公演の合唱公演もより楽しく、より深い理解を以て聴いていただけるものと思っております。</p> <p>ワークショップでの演奏の主な形態は、普段はソリスト(独唱者)として活動している歌手たちが子どもたちの目の前に立ち、体育館でマイクなしの歌声が響き渡るリアルな演奏を意図的に聴いてもらい、鍛え上げられた声の魅力を子どもたちの心に届くように演出しております。</p> <p>指導の主な形態は、指導者が壇上に一名ないし二名立ち、声量や声色、声の響きを出すための練習方法など具体的に紹介しながら進めていきます。“歌声”を育てるのは決して難しいことではなく、簡単な訓練の積み重ねで誰でも可能になるということを児童・生徒たちの発見・気づきとすることにより、誰もが持ちうる声という楽器の魅力や尊さを感じてもらうためです。この間、全編を通じて一方向の指導にならないよう、質問コーナーを設けることや、都度問いかけを行うなど、双方向でのやり取りが出来るようにすることで自主的な参加を促し、理解の深化に繋がるように留意しております。とりわけ声については、声帯が喉の中に位置している関係で参加者の“意識”や“やる気”といったモチベーションの高さで学び得る内容量や質が大きく変わると考えております。また、練習の中で上達する喜びを感じてもらえるようになることで、これからも前向きに人生を歩める強く豊かな心を持った子どもたちを育むことと信じております。</p> <p>そして、共演曲を題材にして「曲の内容や構成を考えること」と、合唱の醍醐味である声を合わせることによる「響の喜び」も感じていただきたいと思っております。</p>		
児童・生徒の参加可能人数		参加人数目安	全校児童・生徒対象

<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>【小学校】 オープニングは、児童に馴染みのある曲として「さんぽ」「となりのトトロ」「花」の中から一曲を選曲。 歌手四名でピアノ伴奏により合唱。 メンバー紹介は、ソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれの声域で挨拶をし、各声部の魅力を感じていただけるようにする。</p> <p>【中学校】 オープニングは、ご挨拶とメンバー紹介からスタート。 まずは普通の話声で、次に声楽的に響かせた声で自己紹介をし、ソプラノ、アルト、テノール、バスのソロ曲と四名での演奏を行う。</p> <p>【小・中共通】 続いて、児童生徒による各学校の共演曲演奏を行う(共演曲は予め各学校と相談の上、曲目を決定する)。 メンバーによる共演曲演奏を行う。 演奏後すぐに、小さな質問コーナーを設けて子どもたちの演奏とメンバーの演奏の「何が異なるのか？」などを一緒に考え、 声や演奏の課題を明確にした上で、歌うための体の使い方や息の使い方、発声練習、共演曲の歌唱ポイントなどを順に学ぶ。 歌唱指導の後、簡単な指揮法の指導も行う。 指導における留意点としては、体の使い方と息の使い方では、体を支えるために必要な下半身の強化やイメージトレーニングなど、 歌には関係がないように思える事柄にも着目し、歌う事が全能力(身体的・精神的)活動であることを伝える。 発声練習では、平易なメロディを用いながら声の響きの違いに着目することで、合唱に最適な声の響きを学習する。 息の使い方や発声練習はワークショップ後も継続的にトレーニングを続けてほしい旨をお伝えし、効果的なトレーニング方法も数例提示しておく。 歌唱指導では、各学校ごとの課題曲に応じて音楽的な観点から「より良い演奏を目指して」と題し、演奏のポイントを演奏しながら分かりやすくお伝えする。 指揮法については、簡単な四拍子・三拍子の基本図形を伝えた上で、音楽表現において重要な強弱の示し方や、 「開始」や「終止」の方法をレベルに応じ提示する。</p> <p>小学校プログラムでは、ここでミニコンサートを行う。 (中学校プログラムでは、冒頭の声紹介時のソロ演奏が、このコーナーの代わりとなる)。 最後に、小学校・中学校ともに質問コーナーを設けて児童・生徒の様々な疑問に対して回答する。 現在、現役で活動する音楽家が質問に具体的に答えることで、児童・生徒がこれからの音楽活動に取り組むヒントになることを願う。</p> <p>※小学校、中学校それぞれでより効果的になるように、お伝えする内容や順番に変化を持たせている。</p>
<p style="text-align: center;">その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>ワークショップの大きな流れは上記のとおりですが、ご相談の上、各学校に合わせた形態で実施いたします。 特別支援学校での公演については、事前に各特別支援学校の先生と電話やメールにて綿密に打ち合わせを行い、生徒・児童と一緒に参加できる箇所を設け、なおかつ各学校のそれぞれの実情に対応可能なプログラムで行う予定です。 また、公演時間の短縮、曲目の変更等も、生徒・児童の状況に合わせて個別に調整を行うことが出来ます。</p>

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 公益社団法人関西二期会 】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>近年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対面での人との関わりは減少し、オンライン上での関わりが増加。特にコロナ禍において、教育環境でもタブレット端末が急速に普及し、Webツールやコラボレーションツールの活用が非対面におけるやり取りを可能にし、子どもたちの個人間でのやり取りも直接対面の関わりからメールや SNS の活用が人との繋がりを助けてきた。</p> <p>新型コロナウイルスのパンデミックから、従来の生活が戻りつつあるものの、一度失った直接的交流が完全に戻るのは難しく、物理的な距離に関わらず、手軽に連絡を取ることができるといった便利さの裏で、他者と同じ空気を共有する機会、人間にとって大切な「共感力」を育む場が少なくなったと言われて久しい。</p> <p>人との触れ合いの場が希少な現代において合唱公演を行うことは、音楽を通して人と人との繋がりを再確認し、豊かな感性を育む機会となるものと考えます。「歌」は、作曲家や作詞家や歌手の意図や思いを聴く者に運び、様々な感情を湧き起こす絶好のツールであり、SNSなどインターネットを介した関わりでは作り出せない「直接的なふれあい」や「交流の場」を作ることができるのである。そのような心と心の交流の場を子どもたちと共有することを願い、「令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)」に申請するところである。</p> <p>本事業における合唱公演では、大人たちが真剣に合唱に取り組む姿を子どもたちに提示することで、まさにその生の“音”や“声”の迫力を体感していただきたいと考えている。マイクを通さない磨き抜かれた歌声、重なり合うハーモニーが織りなす『生きた芸術』は、大人にも子どもにも優しい気持ちや勇気を与える力があると信じている。</p> <p>プログラムには、子どもたちに耳馴染みのある合唱曲やオペラの名曲を取り入れながらも、「Yell」や「いのちの歌」などの“命”“絆”“愛”という普遍的なテーマを子どもたちと一緒に考えたいと思っている。生きる勇気が湧いてくる合唱曲、声の重なりが生み出す一体感が伝わるようなア・カペラの曲目、国境や時代を越えて愛される情熱的なオペラ曲を盛り込み、また児童・生徒にとって一番親しみのある「校歌」を混声四部合唱に編曲し演奏するなど、子どもたちが音楽に親しみをもち魅力を存分に感じられるような公演になるよう、工夫しながら取り組むことを心掛けている。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>実施する学校の担当の先生に資料をお送りし、ワークショップと本公演の両方の大まかな流れや各公演で準備いただきたいものなどを事前にお知らせ致します。その後、各公演の実施前までに、タイムスケジュールなど詳細な調整を重ねていき、不明な点など含め電話・メールでの連絡によって綿密に打ち合わせをして参ります。</p> <p>プログラムにおいては、合唱公演をより効果的に楽しんでいただくために、実際に児童・生徒が授業で取り組んでいるまたは取り組む予定の合唱曲や興味のある曲を伺いながら共演曲を決めていきます。学校にもご協力いただいて公演までに選択した曲目を授業等で練習していただき、ワークショップを通して「歌う」ことや「楽曲そのものに対する興味」を深めていただきます。</p> <p>本公演では出演者が司会進行も務め、子供たちにも分かりやすいよう演奏曲の解説をしながらプログラムを進めていきます。オペラの歌の内容やストーリーを理解しながら鑑賞していただくためにも、原語(イタリア語・フランス語など)で歌われるところを日本語で歌うなどの工夫も致します。</p>
--	---